



株主のみなさまへ

第76期 報告書

2025年7月1日～2026年6月30日



株式会社 高見澤

各事業の持続的な成長と 安定的な収益基盤の強化に努めてまいります

株主のみなさまにおかれましては、平素より格段のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
令和8年熊本地震により被災された方々にお見舞いを申し上げますとともに、一日も早い復旧・復興を心よりお祈り申し上げます。

ここに当社グループ第76期報告書をお届けするにあたりまして、ご挨拶を申し上げます。
当連結会計年度におけるわが国経済は、インバウンド需要が引き続き堅調に推移するとともに、官民の投資意欲も概ね堅調であり、設備投資は底堅く推移しました。一方で、個人消費には慎重な動きがみられ、景気は力強さを欠く状況が続きました。また、人件費の上昇やエネルギーをはじめとする各種コストの増加が企業収益や家計収支への負担要因となりました。

海外経済においては、地政学的リスクの高まりが、グローバル経済の不確実性を増大させています。とりわけ、中東を含む国際情勢の変化は、エネルギー価格や物流コストを通じて経済活動に影響を及ぼす要因となりました。加えて、円安基調の長期化に伴う輸入物価の動向や、米国の関税政策が外需関連産業に及ぼす影響などもあり、国内経済の先行きは依然として不透明な状況が続きました。

このような環境環境の中にあつて、当社グループの売上高は75,660百万円（前年比2.8%増）、営業利益1,399百万円（同4.0%減）、経常利益1,696百万円（同1.6%増）、親会社株主に帰属する当期純利益1,209百万円（同80.3%増）となりました。

今後も先行き不透明で厳しい経営環境が続くと予想されますが、各事業の持続的成長に向けて、営業エリアの拡大及び新分野への挑戦を積極的に進めるとともに、適正価格の追求と製品・サービスの質の向上を通じて安定的な収益基盤の強化に努めてまいります。また、今後もコンプライアンスとガバナンスの一層の強化に努めてまいります。

株主のみなさまにおかれましては、何卒ご理解いただき、今後ともより一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2026年9月

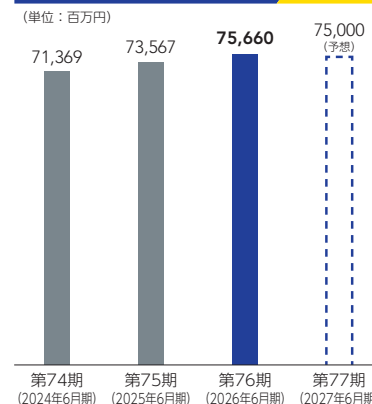
代表取締役社長 高見澤 秀茂

経営理念

顧客・社員・株主・地域社会に必要とされ、
信頼され、貢献でき、存在感のある
良い会社（グッドカンパニー）を目指す。

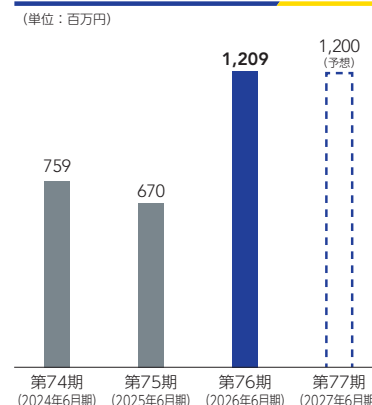
■ 売上高

756億60百万円



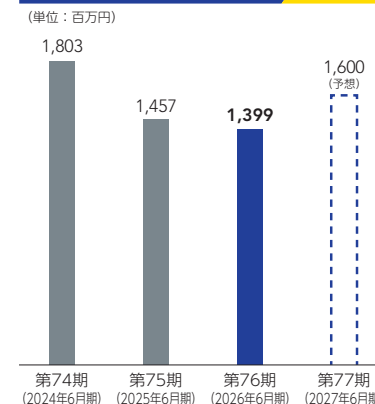
■ 親会社株主に帰属する当期純利益

12億9百万円



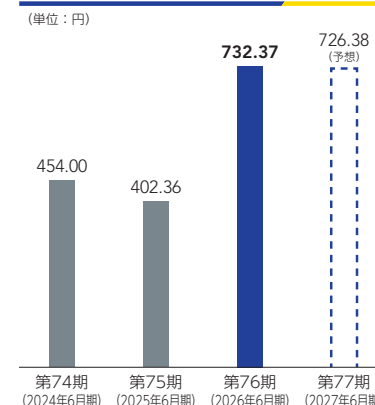
■ 営業利益

13億99百万円



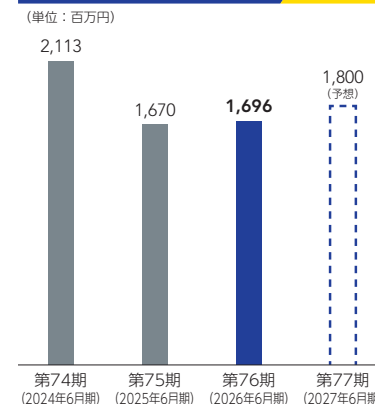
■ 1株当たり当期純利益

732.37円



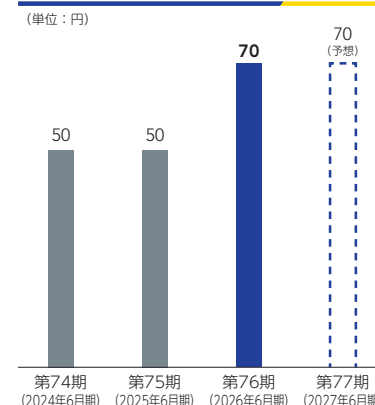
■ 経常利益

16億96百万円



■ 1株当たりの配当金

70円



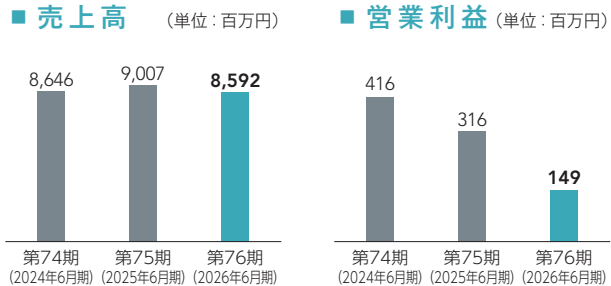
詳細は当社ウェブサイト「IR・投資家情報」: <https://www.kk-takamisawa.co.jp/ir/>



建設関連事業

事業領域

主にコンクリート二次製品、生コンクリート、砂利・砂の製造販売のほか、請負工事、建設に関連した資材の販売等を行っております。



▶ 当期のポイント

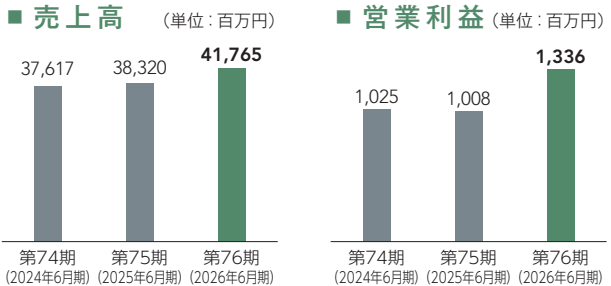
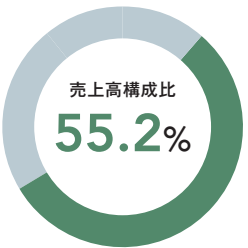
公共向け及び民間向けともに需要が低調に推移し、生産効率の改善による原価低減や付加価値の向上に努めたものの、人件費、材料費及び販売費の増加を吸収しきれず、減収減益となりました。
この結果、建設関連事業の売上高は8,592百万円（前連結会計年度比4.6%減）、営業利益は149百万円（前連結会計年度比52.7%減）となりました。

※当社グループは、当連結会計年度より、各営業利益又は損失をより適切に把握するために、従来配分していない全社費用の一部について、各報告セグメントへセグメント資産及び人件費を基に按分する方針に変更しております。
この変更に伴い、従来の方法によった場合に比べ、当連結会計年度の営業利益が、「建設関連事業」で130百万円減少し、営業損失が、「カーライフ関連事業」で122百万円、「その他事業」で105百万円それぞれ増加しております。

電設資材事業

事業領域

主に電設資材、産業機器及び空調システム等の販売を行っております。



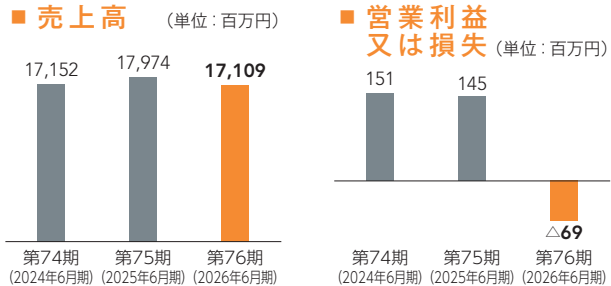
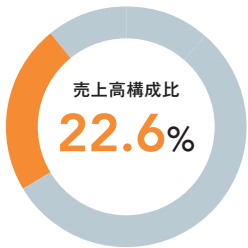
▶ 当期のポイント

公共向け及び民間向けともに、省エネ・省力化や環境負荷低減に係る設備投資案件に対する積極的な営業活動により販売が好調に推移し、人件費及び販売経費等は増加したものの、増収増益となりました。
この結果、電設資材事業の売上高は41,765百万円（前連結会計年度比9.0%増）、営業利益は1,336百万円（前連結会計年度比32.6%増）となりました。

カーライフ関連事業

事業領域

主に石油製品の販売及び自動車の販売・整備を行っております。



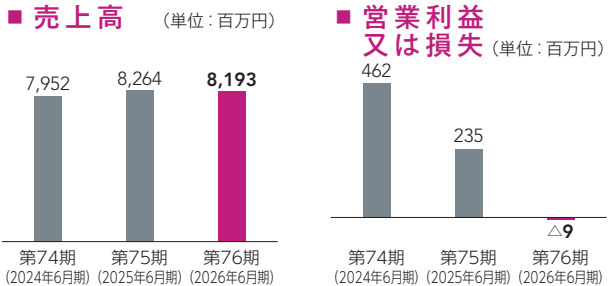
▶ 当期のポイント

石油部門では、小売用燃料の需要が低調に推移し、法人向け産業用燃料及び油脂類においても、中東情勢の影響による市況の変動により販売量が伸び悩んだことに加え、価格競争の激化及び政府の暫定税率廃止に向けた補助金拡充政策の影響により販売価格が低下し、減収となりました。また、競合環境の悪化による利幅の減少に加え、人件費及び販売費の増加を吸収しきれず、減益となりました。
オート部門では、自動車販売台数は前年より増加したものの、整備関連売上が低調に推移したことから、売上高はほぼ横ばいとなりました。また、人件費及び販売費の上昇に加え、新店舗に係る費用が増加したことにより、減益となりました。
この結果、カーライフ関連事業の売上高は17,109百万円（前連結会計年度比4.8%減）、営業損失は69百万円（前連結会計年度は営業利益145百万円）となりました。

その他事業

事業領域

主に不動産取引及び食品に関する製造販売等の、様々な生活に関する個人消費者向けの事業を行っております。



▶ 当期のポイント

フード関連事業において、農業関連部門では、農産物取扱高は概ね前年並みを確保したものの、天候不順の影響による原価高により利幅が減少しました。また、主力のきのこ培地販売においては、積極的な受注活動により販売量は増加したものの、価格競争の激化を背景に、原材料費、人件費及び諸経費の増加に伴う原価上昇分を価格転嫁しきれず、増収減益となりました。
飲食料品部門では、家庭内消費が伸び悩んだことに加え、原材料費、人件費及び諸経費の上昇により、減収減益となりました。
エステート関連事業において、不動産部門では、資材価格や労務費などの上昇による不動産価格の高止まりを背景に需要が低調に推移し、積極的な受注活動及び原価低減に努めたものの、減収減益となりました。
この結果、その他事業の売上高は8,193百万円（前連結会計年度比0.9%減）、営業損失は9百万円（前連結会計年度は営業利益235百万円）となりました。

世界文化遺産「富士山」へ 当社コンクリート製火山シェルターを納入

—— 採用決定から標高約3,000m直下の施工まで

世界文化遺産の富士山に当社のコンクリート製火山シェルターが採用されました。
“富士山に火山シェルターが納入されるまで”の挑戦をご紹介します。



インフラセグメント
セグメント長
峰村 貴広



インフラセグメント
営業部
南信営業所 所長
吉川 大介

浅間山から始まった挑戦

—— プロジェクトが始まった経緯は？

峰村 きっかけは、2004年に浅間山向け火山シェルターの納入案件を担当したことです。当時、当社に山頂へコンクリート製火山シェルターを納入した前例はなく、ヘリコプターによる運搬計画から現地での組立手順まで、すべてがゼロからの設計でし

た。言い換えれば、「できるかどうか」ではなく、「どうやって成立させるか」だけを考える仕事でした。

2014年には、御嶽山で多数の死傷者を伴う、戦後最悪規模とされる火山災害が発生しました。浅間山での実績が評価され、2018年に御嶽山にも当社の火山シェルターを納入することになります。御嶽山での施工は噴火後の対応で、時折噴煙が上がる極めて厳しい環境の中で、安全と工期、品質、そのすべてを同時に成立させなければいけない現場でした。こうした経験が、「いつか富士山にも火山シェルターを設置する」という強い決意につながりました。浅間山・御嶽山での実績をご評価いただき、2025年6月、当社製品の採用が決定しました。

—— 富士山ならではの難しさは？

吉川 最大の課題は運搬でした。ヘリ輸送は使えず、登山道を活用するしかありません。最大傾斜43度の現場で、キャリアダンプによる搬入試験を行い、最終的には1台あたり2本を積載し、片道1時間21分の登山道を往復するという過酷な工程となりました。



峰村 御嶽山のときも厳しい環境での作業でしたが、富士山はまた別の難しさがありましたね。安全確保、工期、環境への配慮—— **あらゆる条件が厳しく制約される中での施工でした。**

—— 他工法との競合もあったと聞きました。

吉川 はい。他工法はコストや施工性の面で優位性があり、提案段階では不利な状況でした。それでも、**コンクリート製ならではの価値、具体的には富士山の酸性土壌に耐えうる耐久性**、浅間山・御嶽山での納入実績、大学教授からの評価に加え、セグメント長の後押し、そして粘り強い提案活動により、最終的に逆転できました。採用決定の連絡は今でも忘れられません。

峰村 正直、厳しい局面もありました。それでも諦めずにPRを継続したことが、採用につながったのだと思います。

—— 完成した火山シェルターを見て率直にどう感じましたか？

吉川 図面で見えていたものが、標高約3,000mの現場で実物として立ち上がっていく。あの瞬間は、本当に胸が熱くなりましたね。施工中は平地と比べ標高差や寒暖差が激しく、厳しい現場環境の中で「絶対にミスできない判断」をしていくのは相当なプレッシャーでした。だからこそ組み上がった火山シェルターを見たときは、嬉しさと同時に無事に終えることができた安堵の気持ちでした。

峰村 私は「夢が形になった」ですね。34歳で浅間山を担当したときから「いつか富士山にも」という思いを持ち続けてきました。日本一の山で、命を守る砦を設置できたことは達成感だけでなく、**社会的意義の重さとしても強く残っています。**

自己治癒コンクリート「Basilisk」の採用

「自己治癒コンクリート“Basilisk（バジリスク）”」は、バクテリアの代謝を利用し**コンクリートのひび割れが自己修復する**スマートマテリアルです。標高約3,000m地点でのメンテナンス・補修業務は極めて困難です。Basiliskの自己修復機能により**耐久性向上・補修管理業務の負担軽減**といったメリットをご提案し、ご採用いただきました。

火山退避壕のような厳しい環境において非常に有効なソリューションと考えています。

低炭素型コンクリート「Locacon」の採用

「低炭素型コンクリート“Locacon（ロカコン）”」は、コンクリート中に使用するセメントを製鉄所から排出される高炉スラグ微粉末で置き換え、セメント使用量を減らすことでCO₂排出量の大幅な削減を実現します。

世界文化遺産である富士山への納入製品として、環境配慮型の材料選定をいたしました。

高見澤の想い

世界文化遺産である富士山へ貢献できる機会をいただき、多くの方々に協力いただいたことに感謝申し上げます。このような重要なプロジェクトを通じて、みなさまの安全を守る一助となれたことを非常に光栄に感じております。

当社は今後も、インフラ整備を通じ、みなさまの安心と安全を守ることを使命として、社会への責任を果たし続ける所存です。

Check!

施工事例公開中!

富士山に納入した施工事例はホームページでもご覧いただけます!



カーライフセンター佐久平 セルフサービスステーションへ転換

1999年の開業以来、基幹店舗として地域に貢献してきたカーライフセンター佐久平の営業形態を、フルサービスからセルフサービスステーションへと転換しました。

給油のセルフ化でステーションの運営余力を生みながら、当社の強みである車検整備工場と、大変好評をいただいている洗車サービス、そしてレンタカー事業に経営資源を集中することで収益構造を改善し、活気ある対応で地域のお客さまのカーライフをこれからも支えてまいります。



安茂里サービスステーション 最新鋭洗車機を導入

安茂里サービスステーションでは、洗車機を最新鋭の機器に更新しました。洗車処理能力と仕上がり品質が向上し、安定したサービス提供が可能となったため、これに合わせて、従来4コースだった洗車メニューを7コースへ拡充し、幅広いニーズに対応しています。

今後は、洗車利用の促進に加え、タイヤ・オイルなど他商材との併売強化やキャンペーン施策も展開し、レンタカーを含めたサービスステーション全体のサービス向上につなげてまいります。



大盛況!「ながとよマルシェ」初出展

5月30・31日に、長野県長野市で開催された「ながとよマルシェ」に全社で参加いたしました。両日とも天候に恵まれ、2日間で5,000人を超える来場者（主催者発表）を迎え、会場は大盛況となりました。

初出展のため手探りでスタートでしたが、各セグメントが知恵を絞り工夫を凝らしたブースを構えました。フードセグメントの「甘夏詰め放題」は両日午前中で完売。インフラセグメントの17tクレーンやエネルギーセグメントの大型ローリー車展示では、ヘルメットを着用しての記念撮影が大好評でした。エステートセグメントのレジシール製作やスナッグゴルフ体験も行列ができる賑わいをみせ、車販部門の中古車展示や宅配水クリクラのブースでは、新規顧客の獲得につながりました。

今回の参加は「地域貢献」「会社の認知度向上」「社員の融和・結束」の3点を目的としました。ご来場いただいた方々のアンケートから、会社の認知度向上と地域貢献には確かな手ごたえが感じられ、また、社員間の結束の強まりも感じられました。今回の成果を整理し、今後のさらなる事業展開へとつなげてまいります。



ご来場いただいた方々からの声

こんなにたくさん事業を展開されていることを初めて知りました！皆さん優しく楽しかったです。

スタンプラリー、社員のお人柄に触れ楽しかったです。

暑い中おつかれさまでした。たくさんのブースを準備されていて素晴らしいと思います。

お水美味しかったし、車のコーティングも検討します！ありがとうございました。

“ながとよマルシェ”とは？

2019年（令和元年）の東日本台風で大きな被害を受けた長野市赤沼地区の復興支援をきっかけに始まったマルシェイベントです。会場ではステージ企画、キッチンカー、フリーマーケットなど多彩な催しが行われ、多くの来場者で賑わいます。長野市及び長野市教育委員会などの後援のもと、地域活性化と防災意識の向上に寄与する取り組みとして、継続的に開催されています。

昭和電機産業株式会社

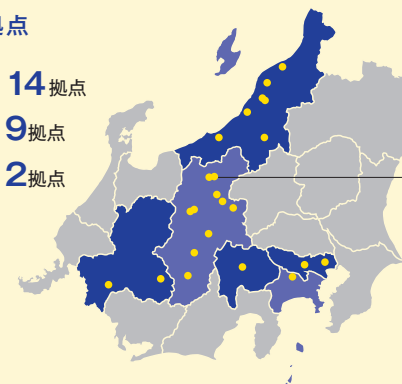
昭和電機産業株式会社は1948年9月に創業した、長野市に本社を置く電設資材と産業機器の総合商社です。
地域に密着して、メーカーとの強力なパートナーシップのもと、あらゆる電気に関わる資材と機器を提供しています。
昭和電機産業は、これより先の80周年、100周年を目指し、電設資材部門においてはトータルでの省エネ化や利便性を追求したシステム化へのご提案、産業機器部門では省人・省力化をテーマとし、常に先進的で丁寧な対応を心掛けながら、社会にとってさらに存在意義のある企業として発展することを目指しています。

● 営業拠点

長野県 14 拠点
新潟県 9 拠点
岐阜県 2 拠点

本社

山梨県 1 拠点
東京都 2 拠点
神奈川県 1 拠点

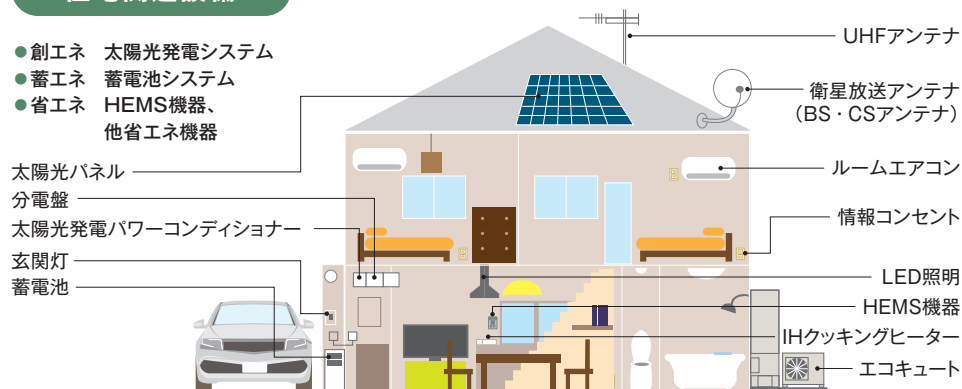


電設資材部門

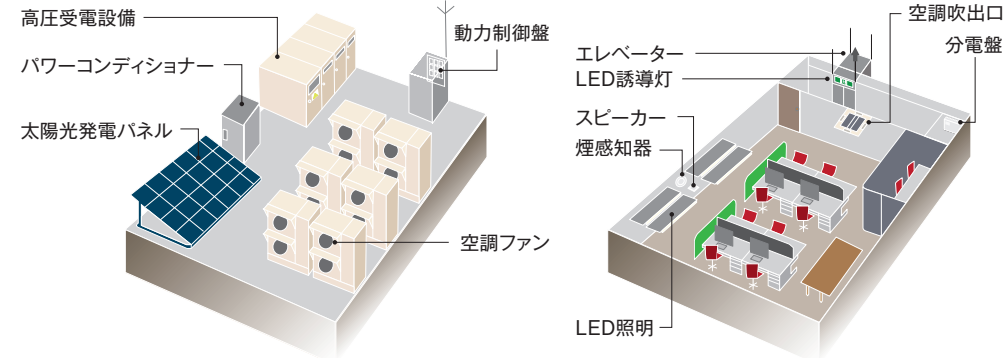
厚い信頼にもとづいた
豊富なノウハウを
正確に、迅速に、
全力で提供。

住宅関連設備

- 創エネ 太陽光発電システム
- 蓄エネ 蓄電池システム
- 省エネ HEMS機器、他省エネ機器



ビル関連設備



● Point ●

主たるお客さまである電気設備工事業者から設計図面をもとにした見積り依頼を受けますが、どの段階でお声掛けいただいたとしても、幅広く取り扱っている電設資材や家電品の中から、最良なメーカーの選定やスペックに過不足のない最適な設備を正確で実現性の高い予算案で速やかにご提案しています。

産業機器部門

広範な商品と
独自の提案力、技術力で
速やかに課題を解決。



各種電線



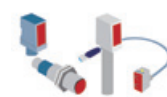
電子タグ



計測機器



各種モーター



センサー



開閉器



ハーネス制作



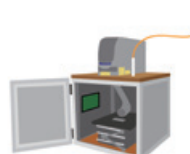
工具



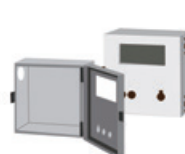
ロボット



コンベア



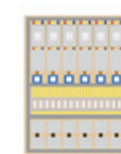
レーザーマーカ



制御ボックス



画像処理装置



制御盤 部材・制作



組立装置



組立装置自動搬送装置

● Point ●

提案する商材数は多種多様にわたるため、営業担当は、得意先の仕事内容にマッチした提案を行い、時として複数の商材を組み合わせたシステム提案や、カスタマイズの対応も行っています。

株主優待のご案内

当社は株主さまご優待として、フードセグメントで製造販売しております「なめ茸“志賀の郷”」を贈呈いたします。

日本一の産地として有名な長野県中野市の採りたての新鮮なえのき茸を、信州産丸大豆を使った杉桶天然醸造醤油でじっくりと煮込みました。

6種類の味をお召しあがりください。また、ご意見を頂戴できれば幸いです。

●対象株主

基準日(6月30日)時点 200株以上ご所有の株主さま

●贈呈内容

1名さまにつき なめ茸“志賀の郷”6本セットを贈呈

なめ茸“志賀の郷”



株主メモ

事業年度	毎年7月1日から翌年6月30日まで
基準日	毎年6月30日 そのほか必要ある場合には、あらかじめ 公告いたします。
定時株主総会	9月中
期末配当金受領株主確定日	6月30日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
連絡先・郵送先	(連絡先) 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711 (通話料無料) (郵送先) 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
公告方法	電子公告の方法により行います。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載し公告いたします。 公告掲載の当社のホームページアドレス https://www.kk-takamisawa.co.jp/koukoku/

(ご注意)

- 株主さまの住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にでもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

株主アンケート

みなさまの **声** を
お聞かせください

<https://koekiku.jp>

アクセスー

抽選でギフト券を進呈!

サービス運営会社：株式会社プロネクサス
お問い合わせ：コエキク事務局
koekiku@pronexus.co.jp

コエキク



株式会社 高見澤

〒380-0813 長野県長野市大字鶴賀字苗間平1605-14
高見澤ダイヤモンドビル7F
Tel 026-228-0111 Fax 026-227-8046
<https://www.kk-takamisawa.co.jp/>

